

●農林水産大臣賞

農事組合法人 国府野菜本舗

(群馬県 高崎市)

国分人参ジュース、国分人参ドレッシング、国分人参ピクルス、 国府白菜漬け、国府白菜キムチ漬け

◇活動の経緯、内容の紹介

国府地区のブランド野菜である国府白菜の加工研究会として平成12年に結成されたグループが前身。平成15年に国府野菜本舗として加工販売施設を開設、平成16年に法人化し現在の形となる。

生産者の高齢化などにより市場から消えようとしていた国分人参や国府白菜を復活させ、惣菜や加工品として販売、地場産野菜としてPRに努めた結果、栽培面積は近年急増している。また収穫作業の応援などを通じた都市住民との交流、食育活動にも積極的に取り組んでいる。

最近では、高齢者向けの弁当の宅配、今後はインターネット販売にも力を入れ、より一層の生産拡大、地域活性化を目指している。



◇代表作品の紹介

国分人参ジュース、国府白菜漬け、ほか：

国分人参は糖度と香りが高く色鮮やかで、ジュースやドレッシング、ピクルスにすることで、その美しい色合いと自然な甘味を味わうことができるようになった。国府白菜漬けも、白菜そのものの味を活かすような加工に努め、キムチ漬けは、本場韓国まで勉強に行って開発した作品である。



◇審査員講評

代表の眞塩光枝さんが語るように「5,000万円の事業規模がゆめ」と起業家として明確な法人の目標があり、加工だけに留まらず、地域の男性たちを再度（あるいは新規に）農業生産に巻き込むなど、地域の仕事作り、経済的な振興、ネットワーキングと総合的な視野で事業を展開している点は何より大臣賞に相応しい。地域作りのビジョンも明確で、保存したい地元野菜の耕地面積も拡大してきている。また、農業者のみに許される農事組合という出資金を集めて事業を起こす法人形態により、地域の出資者80人前後の賛同と注目を集め、事業を展開できることは、他の分野の起業家や小グループにとっても良好なモデルとなっている。

代表作はかなりの年月をかけてブランド化された白菜と人参を中心に、特性を活かした加工食品や、レストランのメニューなど多岐に渡り、消費者ニーズに常にアンテナをはって配達や通販など新しい販路も開拓している。県や市との連携も大変良好で、給食への出荷や食育をすすめ、グリーンツーリズムの受入など、社会貢献でも大いに力を発揮している。

(近本 聡子)